



2021年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 大陽日酸株式会社

コード番号 4091 URL <https://www.tn-sanso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 市原裕史郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 梅原崇禎 TEL 03-5788-8015

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	184,503	△12.3	14,070	△35.2	14,070	△33.3	7,629	△40.2	7,436	△39.1	17,835	—
2020年3月期第1四半期	210,329	32.6	21,722	55.9	21,089	42.7	12,765	25.6	12,221	26.2	△6,737	—

(参考) 税引前利益 2021年3月期第1四半期 11,495百万円(△37.1%) 2020年3月期第1四半期 18,264百万円(28.4%)

コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	17.19	—
2020年3月期第1四半期	28.24	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,788,539	449,402	420,336	23.5
2020年3月期	1,751,732	440,693	409,344	23.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	830,000	△2.4	82,000	△9.2	82,000	△12.7	46,000	△16.4	44,000	△17.5	101.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(参考) 税引前利益 通期 67,500百万円(△14.7%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	433,092,837株	2020年3月期	433,092,837株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	339,528株	2020年3月期	339,139株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	432,753,552株	2020年3月期1Q	432,756,875株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

全般の概況

当第1四半期連結結果計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）における当社グループの事業環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、進出国及び地域では大幅な景気低迷と需要減退の局面を迎える中、製造業の生産活動も減速しており、セパレートガス（酸素、窒素、アルゴン）の出荷は減少いたしました。

このような状況の下、当第1四半期連結結果計期間における業績は、売上収益1,845億3百万円（前年同期比12.3%減少）、コア営業利益140億70百万円（同35.2%減少）、営業利益140億70百万円（同33.3%減少）、親会社の所有者に帰属する四半期利益74億36百万円（同39.1%減少）となりました。

なお、コア営業利益は営業利益から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出しております。

セグメント業績は、次のとおりです。

なお、セグメント利益はコア営業利益で表示しております。

① 国内ガス事業

産業ガス関連では、主力製品であるセパレートガスの売上収益は、関連業界での生産活動が低調に推移し、前期に比べ大きく減少しました。一方、エレクトロニクス関連での電子材料ガスの売上収益は、前期並みとなりました。機器・工事では、金属加工向けの溶接・溶断関連機材を中心に前期を下回りました。

以上の結果、国内ガス事業の売上収益は、760億84百万円（前年同期比9.2%減少）、セグメント利益は、45億68百万円（同19.4%減少）となりました。

② 米国ガス事業

産業ガス関連では、パッケージ・バルクを中心に、主力製品であるセパレートガスの売上収益は大きく減少しました。オンサイトでは、供給先の需要低下の影響で前期を下回りました。機器・工事では、エレクトロニクス関連での売上収益は増加しましたが、金属加工向けの溶接・溶断関連機材では、州内での小売店舗の営業活動自粛の影響もあり、大幅に減少しました。

以上の結果、米国ガス事業の売上収益は、448億98百万円（前年同期比9.7%減少）、セグメント利益は、36億5百万円（同31.9%減少）となりました。

③ 欧州ガス事業

主要地域となるイベリア（スペイン・ポルトガル）、ドイツ、イタリアでは、生産活動全般で停滞が生じたことにより、バルクガスの需要は大きく落ち込みました。また、オンサイトでは、供給先の需要低下の影響を受けて、大幅に減少しました。機器・工事では、金属加工向け溶接・溶断関連機材を中心に大きく減少しました。

以上の結果、欧州ガス事業の売上収益は、351億9百万円（前年同期比20.3%減少）、セグメント利益は、34億0百万円（同50.9%減少）となりました。

④ アジア・オセアニアガス事業

産業ガス関連では、フィリピン等での都市部封鎖や製造業の生産活動停滞の影響を受け、主力製品であるセパレートガスの売上収益は大きく減少しました。LPガスでは、仕入での契約価格低下による販売単価下落はありましたが、豪州での出荷は堅調でした。エレクトロニクス関連では、東アジアでの電子材料ガスの出荷は好調です。機器・工事では、台湾での工事案件の剥落に加え、シンガポールでのスポット案件の減少と金属加工向け溶接・溶断関連機材を中心に大きく減少しました。

以上の結果、アジア・オセアニアガス事業の売上収益は、234億51百万円（前年同期比10.4%減少）、セグメント利益は、23億35百万円（同10.3%減少）となりました。

⑤ サーモス事業

サーモス事業は、国内では、国の緊急事態宣言による外出制限や営業自粛要請に伴い、新学期や行楽シーズンでの販売機会を喪失し、主力製品のケータイマグの売上収益は大きく減少しました。一方、自宅での生活時間が伸びたことによるフライパンやタンブラーの販売は堅調でした。また、2020年7月に開始したレジ袋有料化に合わせてエコバックの販売を開始しております。海外では、各地域での景気減退の影響を受けて、販売数量が減少しました。

以上の結果、サーモス事業の売上収益は、49億59百万円（前年同期比 24.7%減少）、セグメント利益は、6億30百万円（同 67.2%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は1兆7,885億39百万円で、前連結会計年度末比で368億6百万円の増加となっております。為替の影響については、前連結会計年度末に比べ期末日レートのUSドルで1円9銭の円高、ユーロで1円53銭の円安となるなど、約111億円多く表示されております。

〔資産〕

流動資産は、現金及び現金同等物の増加や営業債権の減少等により、前連結会計年度末比で261億56百万円増加し、3,934億58百万円となっております。

非流動資産は、有形固定資産やのれんの増加等により、前連結会計年度末比で106億50百万円増加し、1兆3,950億80百万円となっております。

〔負債〕

流動負債は、社債及び借入金の増加や営業債務の減少等により、前連結会計年度末比で45億67百万円増加し、3,364億70百万円となっております。

非流動負債は、社債及び借入金や繰延税金負債の増加等により、前連結会計年度末比で235億30百万円増加し、1兆26億66百万円となっております。

〔資本〕

資本は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による増加や利益剰余金の配当、在外営業活動体の換算差額の増加等により、前連結会計年度末比で87億8百万円増加し、4,494億2百万円となっております。

なお、親会社所有者帰属持分比率は23.5%で前連結会計年度末に比べ0.1ポイント高くなっております。

(キャッシュ・フローの分析)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前四半期利益、減価償却費及び償却費、営業債務の増減額等により、営業活動によるキャッシュ・フローは208億92百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出等により、投資活動によるキャッシュ・フローは153億17百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入れによる収入、コマーシャル・ペーパーの純増減額、長期借入金の返済による支出等により、財務活動によるキャッシュ・フローは228億75百万円の収入となりました。

これらの結果に、為替換算差額等を加えた当第1四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の四半期末残高は、1,288億19百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。この業績予想は、新型コロナウイルス感染症の拡大により悪化した世界経済の状況が第2四半期連結会計期間から徐々に回復し、第3四半期連結会計期間以降はほぼ正常化することを前提としており、当第1四半期連結会計期間末において当該前提を変更しておりません。しかしながら、実際の業績等は、今後の感染症拡大の状況などにより大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2020年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	100,005	128,819
営業債権	179,243	170,055
棚卸資産	65,886	69,153
その他の金融資産	7,147	8,634
その他の流動資産	15,020	16,795
流動資産合計	367,302	393,458
非流動資産		
有形固定資産	655,195	658,198
のれん	419,290	425,113
無形資産	232,077	231,798
持分法で会計処理されている投資	32,065	31,322
その他の金融資産	38,834	41,699
退職給付に係る資産	1,358	1,365
その他の非流動資産	971	965
繰延税金資産	4,637	4,617
非流動資産合計	1,384,430	1,395,080
資産合計	1,751,732	1,788,539

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2020年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	93,885	82,691
社債及び借入金	154,980	170,283
未払法人所得税	8,331	6,837
その他の金融負債	51,525	51,196
引当金	375	404
その他の流動負債	22,805	25,057
流動負債合計	331,903	336,470
非流動負債		
社債及び借入金	807,611	826,848
その他の金融負債	29,171	30,366
退職給付に係る負債	12,952	13,204
引当金	3,281	3,349
その他の非流動負債	20,282	20,369
繰延税金負債	105,835	108,528
非流動負債合計	979,135	1,002,666
負債合計	1,311,038	1,339,137
資本		
資本金	37,344	37,344
資本剰余金	56,387	56,068
自己株式	△268	△269
利益剰余金	379,322	380,556
その他の資本の構成要素	△63,441	△53,364
親会社の所有者に帰属する持分合計	409,344	420,336
非支配持分	31,349	29,065
資本合計	440,693	449,402
負債及び資本合計	1,751,732	1,788,539

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上収益	210,329	184,503
売上原価	△129,532	△113,769
売上総利益	80,796	70,733
販売費及び一般管理費	△60,092	△56,366
その他の営業収益	724	545
その他の営業費用	△1,111	△616
持分法による投資損益 (△は損失)	773	△225
営業利益	21,089	14,070
金融収益	789	867
金融費用	△3,615	△3,441
税引前四半期利益	18,264	11,495
法人所得税	△5,498	△3,865
四半期利益	12,765	7,629
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	12,221	7,436
非支配持分	544	192
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	28.24	17.19

要約四半期連結包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期利益	12,765	7,629
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	△1,099	2,052
確定給付制度の再測定	△13	△31
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△7	△33
純損益に振り替えられることのない項目合計	△1,119	1,987
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△17,545	8,637
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の 純変動の有効部分	△1	28
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△836	△446
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△18,383	8,218
税引後その他の包括利益合計	△19,502	10,205
四半期包括利益	△6,737	17,835
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△7,008	17,482
非支配持分	271	352

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金
2019年4月1日残高	37,344	53,116	△261	339,393
四半期利益	—	—	—	12,221
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	12,221
自己株式の取得	—	—	△0	—
自己株式の処分	—	0	0	—
配当	—	—	—	△5,627
支配継続子会社に対する持分変動	—	△10	—	—
企業結合又は事業分離	—	4,345	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△13
連結範囲の変動	—	—	—	12
その他の増減	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	4,335	△0	△5,628
2019年6月30日残高	37,344	57,452	△261	345,986

その他の資本の構成要素

	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2019年4月1日残高	△33,440	△39	10,488	—	△22,991	406,602	29,251	435,854
四半期利益	—	—	—	—	—	12,221	544	12,765
その他の包括利益	△18,115	△1	△1,100	△13	△19,230	△19,230	△272	△19,502
四半期包括利益	△18,115	△1	△1,100	△13	△19,230	△7,008	271	△6,737
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	—	—	—	—	0	—	0
配当	—	—	—	—	—	△5,627	△565	△6,193
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	△10	△1	△11
企業結合又は事業分離	—	—	—	—	—	4,345	1,159	5,505
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	13	13	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	12	—	12
その他の増減	—	—	—	—	—	—	△117	△117
所有者との取引額等合計	—	—	—	13	13	△1,279	474	△805
2019年6月30日残高	△51,555	△40	9,388	—	△42,208	398,313	29,997	428,311

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金
2020年4月1日残高	37,344	56,387	△268	379,322
四半期利益	—	—	—	7,436
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	7,436
自己株式の取得	—	—	△0	—
自己株式の処分	—	—	—	—
配当	—	—	—	△6,060
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△318	—	—
企業結合又は事業分離	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	△31
連結範囲の変動	—	—	—	△110
その他の増減	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△318	△0	△6,202
2020年6月30日残高	37,344	56,068	△269	380,556

その他の資本の構成要素

	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2020年4月1日残高	△71,170	19	7,709	—	△63,441	409,344	31,349	440,693
四半期利益	—	—	—	—	—	7,436	192	7,629
その他の包括利益	8,063	25	1,988	△31	10,045	10,045	159	10,205
四半期包括利益	8,063	25	1,988	△31	10,045	17,482	352	17,835
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—	—
配当	—	—	—	—	—	△6,060	△358	△6,418
支配継続子会社に対する 持分変動	—	—	—	—	—	△318	△2,288	△2,607
企業結合又は事業分離	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△0	31	31	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	△110	—	△110
その他の増減	—	—	—	—	—	—	10	10
所有者との取引額等合計	—	—	△0	31	31	△6,490	△2,635	△9,126
2020年6月30日残高	△63,106	44	9,697	—	△53,364	420,336	29,065	449,402

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	18,264	11,495
減価償却費及び償却費	20,515	21,456
受取利息及び受取配当金	△542	△376
支払利息	3,583	3,428
持分法による投資損益 (△は益)	△773	225
有形固定資産及び無形資産除売却損益 (△は益)	△172	△0
営業債権の増減額 (△は増加)	7,992	9,590
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,332	△2,666
営業債務の増減額 (△は減少)	△5,655	△11,459
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△104	△98
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	181	241
その他	2,608	△3,321
小計	41,565	28,512
利息の受取額	58	55
配当金の受取額	590	650
利息の支払額	△3,099	△3,659
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△5,001	△4,667
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,113	20,892
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,667	△15,242
有形固定資産の売却による収入	398	148
投資の取得による支出	△268	△187
投資の売却及び償還による収入	78	5
その他	47	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,411	△15,317
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△52,104	△2,211
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△2,000	24,000
長期借入れによる収入	52,878	48,690
長期借入金の返済による支出	△4,622	△38,873
リース負債の返済による支出	△2,245	△1,986
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△11	△323
配当金の支払額	△5,627	△6,060
非支配持分への配当金の支払額	△565	△358
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,299	22,875
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△508	344
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△105	28,794
現金及び現金同等物の期首残高	59,620	100,005
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△111	—
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	41	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	19
現金及び現金同等物の四半期末残高	59,444	128,819

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。なお、報告にあたって事業セグメントの集約は行っておりません。

当社グループは、鉄鋼、化学、エレクトロニクス産業向けなどに国内外でガス事業を行っており、主要製品に関しては、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの各地域において、それぞれ生産・販売体制を構築しております。また、ステンレス製魔法瓶など家庭用品の製造・販売などの事業も行っております。したがって、当社は、「国内ガス事業」「米国ガス事業」「欧州ガス事業」「アジア・オセアニアガス事業」「サーモス事業」の5つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品・サービス
国内ガス事業	酸素、窒素、アルゴン、炭酸ガス、ヘリウム、水素、アセチレン、ガス関連機器、特殊ガス（電子材料ガス、純ガス等）、電子関連機器・工事、半導体製造装置、溶断機器、溶接材料、機械装置、LPガス・関連機器、医療用ガス（酸素、亜酸化窒素等）、医療機器、安定同位体
米国ガス事業	
欧州ガス事業	
アジア・オセアニアガス事業	
サーモス事業	家庭用品

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している方法と同一であります。なお、セグメント間の内部売上収益又は振替高は、主に市場実勢価格に基づいております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益及び損益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結
	国内ガス 事業	米国ガス 事業	欧州ガス 事業	アジア・ オセアニア ガス事業	サーモス 事業	合計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	83,818	49,697	44,064	26,159	6,589	210,329	—	210,329
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	2,775	4,338	—	612	4	7,730	△7,730	—
計	86,593	54,035	44,064	26,772	6,593	218,059	△7,730	210,329
セグメント利益(注2)	5,669	5,292	6,926	2,602	1,923	22,414	△692	21,722

(注) 1. セグメント利益の調整額△692百万円には、セグメント間取引消去△229百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△462百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに配分していない基礎研究費用等です。

2. セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結
	国内ガス 事業	米国ガス 事業	欧州ガス 事業	アジア・ オセアニア ガス事業	サーモス 事業	合計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	76,084	44,898	35,109	23,451	4,959	184,503	—	184,503
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	4,252	4,080	2	723	14	9,073	△9,073	—
計	80,337	48,979	35,112	24,174	4,973	193,577	△9,073	184,503
セグメント利益(注2)	4,568	3,605	3,400	2,335	630	14,541	△471	14,070

(注) 1. セグメント利益の調整額△471百万円には、セグメント間取引消去△109百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△362百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに配分していない基礎研究費用等です。

2. セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

セグメント利益から、税引前四半期利益への調整は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
セグメント利益	21,722	14,070
固定資産売却益	160	—
減損損失	△315	—
その他	△478	—
営業利益	21,089	14,070
金融収益	789	867
金融費用	△3,615	△3,441
税引前四半期利益	18,264	11,495